

東急車輛製造株式会社 殿

改造自動車等審査結果通知書

指示事項:

主要諸元比較表 (改造, 試作, 組立)

種別用途	東急車輛製造株式会社			種別用途	普通貨物		
	標準車	改造車	基準		標準車	改造車	基準
主 要 諸 元	項目	標準車	改造車	項目	標準車	改造車	基準
	車両重量 kg	12020	—	車名	—	東急	—
	乗車定員人	—	—	型式	—	TL302A	—
	最大総重量 kg	29000	—	形状	—	セミトレーラ	—
	車両総重量 kg	41020	≤20t	原動機の型式	—	—	—
	長さ m	11.990	≤12	総排気量 ℓ	—	—	—
	幅 m	3.000	≤2.5	燃料の種類	—	—	—
	高さ m	2.000	≤3.6	軸距 m	—	8.550+1.200 = 9.750	—
	室内又は 荷台の寸法	長さ 5.650 幅 3.000 高さ —	—	最小回転半径 m	—	*11.2	≤12
	空車時 荷重分布	前後 3480 kg 4270 後後 4270	—	オーバーラップ ボデー後端高 m	—	1.490	≤④H+L (4.875)
	積車時 荷重分布	前後 15600 kg 12710 後後 12710	≤10t ( )	荷台オフセット m	—	3.825	—
	積載時前輪 荷重割合 %	—	≥18 20	タイヤ前	—	—	—
	傾斜角度	—	—	サイズ前後	—	8.25R16-14PRLT 8.25R16-14PRLT	—
	軸距 m	前後 2.450 後後 2.450	—	積車時前 傾斜角度	—	—	—
	制動能力	踏力 kg 空気圧 km/h kg/cm <sup>2</sup>	—	最大安定 傾斜角度	左 右	* 56 * 56	一般 ≥ ④ (30)
回 転 数	N/N = / =	—	車わく強度	σ <sub>s</sub> /σ =	5000 800.0 × 2.5 = 2.5 > 1.6	—	
強 度	σ <sub>s</sub> /τ = / =	—	車軸強度	" =	4900/691 × 2.5 = 2.8 "	—	
			操縦装置	" =	7000/246 × 2.5 = 2.2 "	—	
			懸架装置	" =	4100/1313 = 3.1 "	—	
			連結装置	" =	東急TD2515 型セミトレーラと同一	—	

注1. 主要諸元比較表右肩( )内の改造, 試作, 組立は該当するものを○で囲むこと。  
 注2. 能力物成等検査時に必要としないものは-, 當時したものには×を記入すること。  
 注3. \*印は三菱 K-FV315HR 型トラクタと連結時の計算値を示す。

番号 TY-3902343

改造概要説明書

目的	重量物品の安全輸送をはかるため 低床式セミトレーラとして新に製作されるものである
車 体	車両全長は 11.990m, 全幅は 3.000m, 全高は 2.000m, とする
軸 距	重量配分の適正化を計るため第5輪から 8.550m+ 1.200m= 9.750mとする
輪 距	2.450mとする
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面の左右に取り付けられたトラネオン軸を中心にして上下左右に揺動するウォーキングビームを取り付け、テーパローラーベアリングをはめ合わせてキールを支える尚後車軸は4本とし8.25R16-14PRLTのタイヤが10本使用されている
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式
懸架装置	ウォーキングビーム方式 (トラネオン軸を中心にして上下左右に揺動する構造である)
連結装置	東急TD2515 型セミトレーラと同一 (50自車第 8号新型自動車第 11054号) 第5輪方式
車 わ く	全体の構造は棒子型で主レールとアウトリガおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを後部に車軸装置を取付けている
その他	

(A列3番)

Y40899